

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2024 -54	2024/3/26	Navy Doubles Down on Submarine Industrial Base Funding in Unfunded Request	【米海軍予算関連】 米海軍は予算案に盛り込まれなかった潜水艦産業基盤の予算復活に全力を挙げる	USNI News 2024/3/26	 米海軍は、造船所のインフラや雇用も含め、建造基盤を整えるためのダイレクトな予算要求ができます。	岩崎洋一
2024 -55	2024/3/30	Fincantieri inks \$1.3B deal with Indonesia for two patrol ships	【伊哨戒艦インドネシアに輸出】 フィンカンティエリ、インドネシアと哨戒艦2隻13億ドルで合意	Defense News 2024/3/30	 インドネシアが伊のフィンカンティエリと哨戒艦の建造に合意しました。契約プロセスが良く分からないので、今度どういう進展があるのか、要注目です。	川原梅三郎
2024 -56	2024/3/1	Augment the Fleet with Marine Corps UASs	【米無人機運用】 海兵隊のUASで艦隊を増強する	Proceedings 2024/3/1	 先日配信した「すべての艦を空母に」と同じような論調ですが、ここでは、垂直離発着UAVのMQ-35 V-BATを運用する海兵隊分遣隊を各艦艇に配属せよ、という論文です。超水平線まで進出してISRができ、武装もでき、しかも艦上でスペースを必要としないUAVは、先日の論文でも言っていたグループ3~4ということになりそうです。プロシーディングス誌3月号から。	岩崎洋一
2024 -57	2024/4/1	U.S. Navy Submarine First In World Fitted With Silent Caterpillar Drive	【米原潜推進技術】 米海軍潜水艦、世界で初めて静粛なキャタピラー・ドライブを搭載	Naval News 2024/4/1	 米海軍の原潜Montanaに電磁流体駆動(キャタピラー・ドライブ)を装備する計画があるようです。日本でも平成初期に実験船Yamato1で電磁流体駆動の実証試験を行っていました。ただし航行時に有毒な塩素ガスが発生すること、高コストでエネルギー損失が大きいことから実用化には至らなかった経緯があります。果たして今回はどうなるでしょうか。	佐々木司
2024 -58	2024/3/8	EU pledges €1.5bn in its first defence industrial strategy	【EU防衛産業資金】 EU初の防衛産業戦略で15億ユーロの拠出を約束	Naval Technology 2024/3/1	 2019年12月からEU初の女性委員長が就任しています。この度、欧州初の長期的な防衛産業の即応性として15億ユーロを拠出し、EU域内での防衛装備品の調達割合を向上させるということです。一方、米国主導のNATOはEU域内とほぼ重なり、EU加盟国はNATOへ拠出する防衛費増額や米国装備品の購入にも対応しています。NATOは欧州における集団防衛基盤として安全保障上不可欠な存在であるものの、資金の継続的な支出は大丈夫でしょうか。	工藤悟
2024 -59	2024/4/1	Japan Stands Up Amphibious Rapid Deployment Brigade, Electronic Warfare Unit for Defense of Southwest Islands	【日本の部隊新編】 日本は南西諸島防衛のために水陸機動団と電子戦部隊を立ち上げる	USNI News 2024/4/1	 陸自の水陸機動団の第3水陸機動連隊が長崎に、第7地对艦ミサイル連隊が沖縄に、電子戦部隊が与那国島に、それぞれ新編されました。南西諸島の防衛は着実に進んでいます。	岩崎洋一
2024 -60	2024/3/24	Out of service date confirmed for aircraft carriers	【英空母運用期間想定】 英空母の除籍時期が判明	ukdj 2024/3/24	英議会における質問から英空母Queen Elizabeth級の運用期間が判明したという短信。記事によれば(2017年就役後)52年は運用するとのこと。日本では、運用中にいつ退役させるかというような議会での質問は皆無と思いますが、50年運用させる艦なら、途中2回程度の大規模改修が必要ではないでしょうか？英国は嘗てType21が運用期間を急遽延伸し、RRがオリンパスGTのサプライチェーン立直しに窮したことがありましたが、英国の艦船運用にかかる考え方を垣間見えるように思います。	山越博道
2024 -61	2024/4/1	Russia to start from scratch on some submarine parts amid sanctions	【露原潜部品事情】 ロシア、制裁下で一部の潜水艦部品をゼロから作り直す方向	Defense News 2024/4/1	 ロシアの原潜に搭載している補助電源推進システムのサーキットブレーカなどの重要構成部品の一部に西側の部品が使われているため、経済制裁下で入手困難となっており、代替策として国産化を模索しているようです。しかし、そもそも国産が難しいから西側製品をあえて使用したのではないのでしょうか。維持整備上の所要とはいえ、開発には困難が伴いそうです。	佐々木司
2024 -62	2024/4/2	Constellation Frigate Delivery Delayed 3 Years, Says Navy	【米FFG情報】 コンステレーション級フリゲートの引き渡しは3年遅れる	USNI News 2024/4/2	 コンステレーション級フリゲートだけでなく、空母、潜水艦、すべて、納期が遅れています。フリゲートは既存の設計であるにもかかわらず、仕様変更をした設計に問題が残っているようで、やはり、手っ取り早く取得しようと借物の設計をした艦艇は、上手いかならないという典型でしょう。	岩崎洋一
2024 -63	2024/4/1	An Island Too Far: Lessons from Guadalcanal for EABO	【ガ島戦兵站の教訓】 遠すぎた島：EABOのためのガダルカナルの戦訓	Proceedings 2024/4/1	 米海軍協会プロシーディングス誌4月号に海自の3等海佐が投稿しています。日本側から見たガダルカナル戦の兵站を教訓に、EABOの補給問題に一石を投じています。	岩崎洋一
2024 -64	2024/4/9	Report to Congress on Constellation-class Frigate Program	【米FFG建造議会報告】 コンステレーション級フリゲート計画に関する議会報告	U.S. NAVAL INSTITUTE STAFF 2024/4/9	 次期FFGの就役が3年遅れることに関するCRS(Congressional Research Service)報告の要約です。詳細は、添付文書を直接参照のこと。	岩崎洋一

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2024 -65	2024/3/29	The factors shaping the future Royal Navy surface fleet	【将来英艦隊形成要素】 将来の英海軍水上艦隊を形成する要素	NAVY LOOKOUT 2024/3/29	 英国はウクライナ支援で疲弊しているのでしょうか。艦船の輸出は好調ながら、自国海軍の艦船の更新や運用の問題が多く、国防上の観点から、将来の海軍兵力整備への不安を募らせた記事です。しかし、希望の持てる、具体的な解決策も紹介されています。その方向性は、無人機と可動艦の最大有効活用であるようです。事実、紅海で任務にあった艦船が、本国に帰らず、ジブラルタルで補給を受け、再任務に就いた情報がありました。	本山泰之
2024 -66	2024/4/13	The UK Prepares for Combat Experiment, Plans Transfer of DragonFire Laser Weapon to Ukraine	【英レーザー兵器実戦実験計画】 英国は戦闘実験の準備、ウクライナへDragonFireレーザー兵器の移転を計画	Defense Express 2024/4/13	 英国は、時間を要する新兵器の開発には、問題があるとして、試験中のレーザー兵器をウクライナに送り、実戦で試したいようです。我が国ではハードルが高過ぎると思いますが、「100%を要求せず、実戦配備、試験」という事は、検討の余地があると思います。	川原梅三郎
2024 -67	2024/4/14	Royal Navy Plans To Field DragonFire Laser Weapon From 2027	【英海軍レーザー兵器配備計画】 英海軍、レーザー兵器DragonFireを2027年から配備を計画	Naval News 2024/4/14	 英国海軍は、2027年からDragonFireレーザー指向エネルギー兵器(LDEW)システムを実戦配備の予定です。艦の電源システム等の改修については言及されていませんが、要注目です。	川原梅三郎
2024 -68	2024/4/4	10 reasons to be optimistic about the strength of the Royal Navy	【英海軍の精強さ情報】 英海軍の強さを楽観視できる10の理由	NAVY LOOKOUT 2024/4/4	 本記事は、結果的に、英海軍の強さに関する評価項目を列挙した形の記事になっています。ただ、これは、裏を返せば、今日の海軍の理想像を描く作業に近いものとも言えます。内容は、ソフト・ハード両面を網羅したものであり、英海軍と規模感や各種構成が近い海上自衛隊にとっても、大変参考になる内容ではないかと思いました。特に人を育てることの重要性を再認識させられました。	本山泰之
2024 -69	2024/1/9	AMERICA'S WARFIGHTING NAVY	【米海軍作戦部長指導方針】 米国のウォーファighting・ネイビー	2024/1/9	 2024年1月9日に開催された水上海軍アソシエーションの第36回年次全国シンポジウムで、CNOのリサ・フランケッティ大将が発表した米海軍の優先事項です。米国人が指導方針を書けば、このようなスタイルになります。	岩崎洋一
2024 -70	2024/4/15	SM-3 Ballistic Missile Interceptor Used for First Time in Combat, Officials Confirm	【SM-3初の実戦使用】 SM-3迎撃ミサイルが実戦で初めて使用されたと当局が認める	USNI News 2024/4/15	 先日のイランによる攻撃の対処で、米艦がSM-3ミサイルを実戦で初めて使用したという記事です。	岩崎洋一
2024 -71	2024/4/9	Canada to look at new submarines, and Trudeau doesn't rule out nuclear option	【加首相原潜選択も検討】 カナダは新型潜水艦を検討、トルドー首相は原潜の選択肢も排除せず	The Cold Lake Sun 2024/4/9	 次期潜水艦の選定作業では、冷静なカナダにおいても、様々な議論があるようです。昨年のCDA研究所報告書にて、通常型潜水艦で一旦落ち着いたかに見えましたが、AUKUS豪州の動向もあり、揺れ動いているようです。カナダでの原潜研究は、1980年代に行われており、元々存在した気運でもあるのでしょうか。もう少し、次期潜水艦の入り口論として、議論を重ねる時間が必要なのかもしれません。氷を突き破る技術については、継続して調査していこうと思います。	本山泰之
2024 -72	2024/4/21	Japan-Based Chief Petty Officer Found Guilty of Attempted Espionage	【スパイ容疑米下士官有罪判決】 日本配備艦の下士官にスパイ未遂の有罪判決	USNI News 2024/4/21	 詳細は不明ですが、在日米海軍の駆逐艦CPOがスパイ未遂罪で裁かれるという記事です。巻末に、昔の恐ろしい刑罰(拷問)をWikipedia から紹介します。	岩崎洋一